

久我山学級について

(1) 時間割について（学級要覧参照）

①国語、算数の内容

- ・特別支援学級の小集団活動を生かして、そのお子さんの課題やニーズにどう応えるか、個別指導計画を保護者と面談しながら作成し、学習を進めています。
- ・小集団で一緒に学習する時間と、個別の課題を学習する時間を設けています。
- ・今年度は、それぞれ6つのグループに分かれて学習しています。

②図工、音楽、体育

- ・図工は専門の講師が担当しています。低学年・中学年・高学年に分かれて行っています。
- ・音楽も専門の講師が担当しています。1～3年生と4～6年生に分かれて行う授業と、1～4年生と5・6年生に分かれて行うリトミックの授業があります。
- ・体育は全員で行っています。

③生活単元学習

連合移動教室（3～6年）、お誕生日会、季節の畠の仕事、買い物や調理、学校行事への参加など、一年間の流れの中で様々な行事や活動があります。それらを計画・準備段階から体験学習し、生活の力を身に付けていきます。様々な教科や領域の内容が含まれた学習です。

④道徳

- ・道徳教育は日々の生活の中で常に行ってますが、週に1時間は、読み物教材や動画教材を使って学習しています。
- ・役割演技を通して考えたり、理解したことを実際にロールプレイしてみたり、ソーシャルスキルを学んだりしています。
- ・今年度は、6つのグループに分かれて学習しています。

(2) 交流について

①本校の交流学習のねらい

久我山学級にとって

○通常の学級の児童との関わり合いの中で、生活の場を広げ、経験を深め社会性を育てる。

○互いのふれあいの中で、豊かな人間関係を育み、コミュニケーション能力を高める。

通常の学級にとって

○共に学ぶ仲間として、互いに認め合う気持ちを育て、絆を深める。

○特別支援学級の児童と日常的に接し、思いやりの心をもって自然に関わることができるようとする。

②交流の場面

- ・遠足、生活科見学・社会科見学、たてわり班活動、クラブ、委員会、体育学習発表会、地域班活動、演劇・音楽鑑賞教室など。
- ・清掃交流（通常の学級の5年生）
- ・遊びの交流（2学期、通常の学級の3年生）
- ・給食、教科交流については、個々の児童の実態を考慮しながら進めている。
(基本的に、大人が付き添わずに交流学級に行き、一緒に活動したり、学習内容を理解したりできる児童)

③区内の特別支援学級・学校との連合行事

6月：連合移動教室1泊2日（3～6年生）

12月：スポーツ交流会

1月：連合展覧会

（3）その他

①家庭と学校の連絡について

- ・連絡帳にて、学校やご家庭での様子などについて、毎日やりとりします。
- ・学級通信を毎月末に発行し、学校生活の様子や行事、下校時刻、その他大切なお知らせを載せています。

②登下校について

- ・最初は、保護者の方やヘルパー（移動支援）の方の送り迎えをお願いしています。
- ・最終的には一人登下校を目指していますので、担任と相談し、可能な範囲で少しずつ練習をしていきます。

③専門家の巡回指導

- ・月に1～2日、言語療法士の巡回指導があります。全員を対象に、1日5名程度で個別に指導を行っています。
- ・月に1日程度、作業療法士の巡回指導があります。授業の中での児童への指導や、教員・介助員への助言を行っています。
- ・必要に応じて、専門家チームが巡回相談を行っています。

※質問がある場合は、放課後、電話にて連絡いただければお答えします。

（授業や会議などで出られないこともあります。）

久我山学級直通電話…03-3333-7910